

平成22年 第7回(12月)志免町議会定例会一般質問通告書

通告順

番号	質問者	質問時間	件名	要旨	具体的質問内容	質問の相手
1	大西 勇	30分	1. 経済対策について	(1) 中小小規模事業所支援対策	①「緊急保証制度」が始まった経緯について。 ②この制度の概要とポイント。 ③この制度の対象業種と保証総額は。 ④本町の事業所はどのような場面でこの制度を利用しているのか。制度の開始から現在までどのくらいの申請があっているのか。 ⑤申請にこられた事業所のその後の状況は把握されているのか。 ⑥我が町の経済を支えているのはある面、中小小規模事業所と言っても過言ではないと思うがご所見を。 ⑦「緊急保証制度」についてまた、我が町の対応についてご所見。 ⑧これから本町の中小小規模事業所の支援対策としてのご所見。 ⑨現在の融資制度に「保証料金保証制度」か「利子補給制度」を創設し利用しやすいようにすべき。	町 長
			2. 環境問題について	(1) 危険廃屋の解体を推進	①町内で空き家(廃屋)となっている箇所は何箇所あるのか。また、空き家、空き地の対策はどうされているのか。 ②危険廃屋解体費支援事業の創設について。 ③国土交通省が「老朽住宅撤去に30万円補助」を来年度から決定。それとの連携について。 ④「空き家等の適正管理に関する条例」制定について ⑤堅抗関連施設の見学が多くなれば、炭住街にもいろいろな方が入ってくるが、そのような対策はどう考えているのか。	町 長
2	西川 蓉子	30分	1. 宅老所について。	(1) つどいの家の現況は？	①平成12年度開設から現在までの運営状況は。 ②宅老所(つどいの家)のボランティアの人員及び利用者数。 ③開設当初からの補助金と費用対効果。 ④事業の見直しをする考えはないのか。	町 長
			2. 蒸気機関車について。	(1) 移動する考えは？	①蒸気機関車設置の経緯について。 ②鉄道公園に移動する考えは。 ③現状のまま、志免保育園の建設は血税の無駄遣いと思うが。	町 長
			3. ファミリー農園について。	(1) ファミリー農園の現状について。	①ファミリー農園の設置目的と経緯について。 ②ファミリー農園の現状について。 (土地の所有者は何人で、利用している住民の方の数) ③ファミリー農園の借上料について。 (年間の借上料及び何筆分か) ④現在の借上料は妥当か。 ⑤市街化区域と調整区域の格差は。 ⑥今後、市街化区域と調整区域の見直しはされるのか。	町 長
3	末藤 省三	30分	1. 保育について。	(1) 子ども園をどう考えるか。	①構造改革特区どう変わるか。 ②子ども園でどう変わるか。 ③市町村の保育義務はどうなるか。 ④待機児童対策をどのように考えているか。 ⑤保育の規制緩和、どうなるか。	町 長
			2. 国保について。	(1) 国保の広域化でどうなるか。	①広域化で住民に何をもたらすのか。 ②広域化で後期高齢者医療制度はどうなるか。 ③広域化導入で国保料はどうなるのか。	町 長

			<p>3. TPP 問題</p> <p>4. 地域主権について。</p>	<p>(1)日本農業と住民の生活はどうなるか。</p> <p>(1)地域主権改革をどうみるか。</p>	<p>① 日本農業に壊滅的な打撃を受ける TPP 問題をどのように考えているか。</p> <p>② 町民の生活はどうなるか。</p> <p>③ 食料自給率 14%まで下がった場合コメの自給率はどうなるのか。</p> <p>① 義務付け枠付けの見直し。</p> <p>② 事務の共同処理化。</p> <p>③ なぜいま一括交付金なのか。どう変わるのか。</p> <p>④ 地域主権改革をどのように考えるか。</p>	町 長
4	稲永正昭	30分	<p>1. 4期16年をふり返って町政を問う。</p>	<p>(1)水行政について。</p> <p>(2)下水道行政について</p> <p>(3)人口増加と財政について</p> <p>(4)町民広場について</p> <p>(5)堅坑について</p>	<p>① 人口増と町の活性化について、町長の所見・感想は。</p> <p>i 水規制の解除。</p> <p>ii 開発に伴う綱領（要綱）の撤廃（水、ゴミ、教育）。</p> <p>iii 今後の上水道事業について。</p> <p>① 町長の所見・感想は。</p> <p>i 汚水処理。</p> <p>ii 下水路整備。</p> <p>iii 今後の下水処理（内水対策）は。</p> <p>① 町民に対する住民サービスは向上したのか、低下したのか。所見を。</p> <p>① 防球ネットの設置を。</p> <p>① 財政上どのように考えてあるか。</p>	町 長 副 町 長
5	牛房良嗣	30分	<p>1. 説明責任、情報の共有化が下記の2点についてどう生かされてきたかを問う。</p> <p>(1)予算、決算</p> <p>(2)広報しめ</p> <p>2. ひとりぐらし高齢者を元気高齢者が世話する風土作り。</p> <p>3. 福岡市周辺地区今100年に一度の変化とチャンス到来。町長のトップセールスに期待。</p>	<p>(1)予算、決算は町のお金の出し入れを示す町づくりの根幹。</p> <p>・町民への説明は十分果たされているか、改善すべき点は。</p> <p>(2)広報しめは行政と町民をつなぐ大事なかけ橋。</p> <p>・役目は果たされているか、改善すべき点は。</p> <p>(1)地域の老人クラブ、民生委員、町内会の3者が一体となり、行政に頼らず自立型の高齢者支援サークルを作り、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを実現する。</p> <p>(1)福岡空港滑走路の増設（10年間、2,000億円）、九州新幹線来春3月開通。東南アジアからの観光客クルーズ船博多港急増。陸海空、100年に一度のビッグチャンス。各自治体の首長はまちづくり活性化へ向け必死の挑戦。最隣接の志免町どうする。</p>	<p>① 予算、決算の説明は5月、10月に発表。予算概要書は全世帯配付廃止、補助金負担金の紹介は削除（平成17年～21年掲載）。決算説明は10月のみ。説明責任、情報の共有化、いずこにありや。</p> <p>① 広報しめ</p> <p>イ) お知らせイベント満載。シーメイト行事と同様、子育てわくわくカレンダー、高齢者カレンダー等についても検討。</p> <p>ロ) 町政の目標、ビジョン、重大計画の進行状況など、わが町の姿、形の見える行政の方針と考え方の記事を増やす。</p> <p>ハ) 広報編集者を公募。3人、10日間。</p> <p>① 元気高齢者の経験を生かしては。</p> <p>イ) 児童登下校の見守り、花壇や緑の森の清掃、管理、廃品回収等々。</p> <p>ロ) 今迄の社会奉仕にもう一つ地域の高齢者へのお手伝い・お世話もさせて頂こうというもの。</p> <p>ハ) 同世代の友人への務めと心得る。百の説法より一の実行、一波は万波を呼ぶ。一波になりたい。</p> <p>① 内から外へのトップセールスへ。町民の就労、地元企業、商工業者の活性化を。</p> <p>イ) 新空港への協力</p> <p>災害時の避難、救急体制への協力</p> <p>空港周辺の道路整備、</p> <p>空港貨物倉庫、従業員宿舎、ホテル、亀山工業団地の活用は。</p> <p>ロ) 滑走路2,500m、かさ上げ2mに。ボタ山の残土、宇美川の川砂の活用の提言。</p> <p>ハ) 観光客、留学生受入れ。</p>	町 長 町 長

					<p>ニ) 地下鉄延伸 天神—新宮地下鉄線。空港—博多の森—志免町延伸。 空港地下鉄巡回バス増。</p> <p>ホ) 福岡市との提携強化を、博多区浦田地区開発。</p> <p>へ) 阪急百貨店へ粕屋の農産物、玄海の魚の売りこみ。</p>		
6	堤 久美子	30分	<p>1. 新しいまちづくり</p>	<p>(1) 協働（共働）のまちづくりに「ありがとう500選」を。</p> <p>(2) 教育（共育）で地域の中で心の豊かな子ども育ちを。</p> <p>(3) 広域連携プロジェクト事業のかすやの交流推進を。</p>	<p>① 本町において今年度、職員の早期退職が多いことを知りましたが、その原因は何なのか。</p> <p>② 誰もがまちを想っているはず、それを見える化すれば共働できるはず、批判から共働は生まれません「ありがとう500選のまち」づくりを。</p> <p>① 中学生議会の予算が計上されていますが、どのような取組みを企画されているのか。</p> <p>② 昨年の成人式に出席して、県内外から帰省して参加する新成人の心を打つ式とは思えないが今年度は。</p> <p>③ 地域で企業等を取り込んだ共育の場を。</p> <p>① 糟屋中南部地域広域連携プロジェクト推進事業は今どのような段階か。 i 商工会等との連携は。 ii 単町それぞれのガイドボランティアの育成は、広域で講座を開講できないか。 (新幹線の開通で膳は急げではないのか)</p>	町	長
7	丸山真智子	30分	<p>1. 南里町政全般について。</p> <p>2. 地球温暖化対策と循環型社会の形成推進について。</p>	<p>(1) 3期12年の実績と課題、特に私と任期が重なった後半8年について。</p> <p>(1) 地球温暖化対策と循環型社会形成推進に町としてどう取り組まれているのか。住民と協働（共働）で進めていく必要がある。</p>	<p>① 南里町政だからこそできた実績は何なのか私にはわかりづらい。一体何ですか。</p> <p>② 近隣町の首長の中でリーダーシップを発揮されたことはあるのか。私が平成18年12月議会で質問した粕屋ブランド関連も何か働きかけたのか。</p> <p>③ 花いっぱいもお金を使った割には私から言えば中途半端。協働といいながら職員は庁舎周辺でさえ協力していない。同僚議員が質問した「コンテスト」も出来ていない。いろいろ工夫が足りない。</p> <p>④ 町を良くするために職員が一丸となってやる気満々で働いているのか、どうなのか。早期退職者があるとこれでもいいのかと考えてしまいます。</p> <p>① 志免町地球温暖化対策実行計画が平成19年2月に作成されている。推進会議は何回開催され、目標達成状況はどうなっているのか。職員全員に計画推進はいきわたっているのか。 i 学校の増改築工事の際、例えば太陽光発電設備の導入、運動場での雨水の一時貯留等に積極的に取り組む必要があるのでは。 ii ノー残業デーの実施状況は。ノーマイカーデーは。 iii エコタップの使用を住民にも進めたらどうか。 iv 学校、保育園で雨水利用（花の水やり等）はされているのか。 v 公共施設の緑化をもっと進めるべきでは。ゴーヤを植えたら一石二鳥。</p> <p>② 循環型社会の形成推進は子どもの頃からの環境教育が大事である。筑後市が行った「ごみ分別授業」（今年の5月に開催された第18回 環境自治体会議 ちっこ会議分科会で発表）を行えないか。</p> <p>③ 家庭からはじめる地球温暖化対策として県が進めている「エコファミリー」の取り組みを推進したらどうか。町内会ごとに何人か参加してもらえたらCO2の削減量もわかる。</p> <p>④ 住民と協働（共働）で対策に取り組むため「地球温暖化対策町民会議」を設置し活動してもらったらどうか。</p>	町	長

			3. 高齢者虐待防止について	(1)全国的に虐待が増加している。志免町の実態、防止への取り組みについて質問します。	① 高齢者虐待防止法が2006年4月に施行された。相談や通報を受け、虐待を確認した件数は何件か。(06年、07年、08年、09年度分) ② 在宅で介護されている人(グループホーム等は除く)は何人か。 ③ 町として防止するための取り組みはどのようにしているのか。 例)・相談しやすい体制(介護相談窓口) ・在宅介護者の情報交換(在宅介護者の集い等) ・地域の理解(認知症サポーター育成、活用) ④ 男女共同参画行動計画(後期計画)の中の施策「高齢者等への支援」が防止につながるのではないか。	町長
8	助村千代子	30分	1. 児童虐待から子どもを守る(虐待死ゼロのまち)	(1) 児童虐待事件が相次ぎ、幼い命が失われていくことは、胸が痛くなります。情報が迅速に共有され、有効に対処できていれば、救える命は多いはず。志免町からは児童虐待死は出さない。虐待死ゼロを目指しての取り組みを伺います。	① わが町における児童相談所が対応した児童虐待の実態と町の相談機関への、相談件数(今年、近年)は、主な相談内容は。 ② 庁舎内ネットワークでの対応案件は。 ③ 乳幼児健診での対応と未受診へのフォローアップは。 ④ 行政や医療機関、幼稚園、保育園、学校、地域、民生児童委員などの連携体制と強化について ⑤ 親になる教育や子どもの問題行動に、教育的に対処できるようなしつけのスキルを身に付けることが必要と考える。「コモンセンス・ペアレンティング・トレーニング」を活用しては。 ⑥ 効果的な虐待防止の啓発、対処法の周知について。	町教育長
			2. いのちを守るための施策を。	(1) 子宮頸がんをはじめがんは、検診での早期発見やワクチンで病気の発症を、未然に防ぐことができるものは対策を講じるべきと考えます。	① 子宮頸がん発症「ゼロ」への取り組み i 子宮頸がん検診は細胞診に加え HPV 検査の併用検診を。 子宮頸がんの原因は HPV ウイルスであることがわかっている。細胞診の残りでき、両方が陰性の場合少なくとも3年間検診期間を延ばすことができる。 ii 検診を受けていない人に受けてもらう取り組みが重要で、その手立は…。 検診無料クーポンの活用と継続が検診率向上につながる。 iii 子宮頸がんワクチンの公費助成への取り組みについて。 国は来年度の予算でワクチン接種を考えている。しかし市町村負担も避けて通れない。「子宮頸がんゼロへ」向けた町長の所感を伺いたい。 ② 子宮体がん検診の推進を啓発啓蒙を 50歳を過ぎると子宮体がんの発症の可能性が高くなる、子宮体がんの認知度は低いため進行して見つかるため、検診を促す啓発啓蒙を望む。 ③ がん検診の拡大。 現行のがん検診適用年齢以外の検診の拡大を望む。費用の個人負担は多くても行政が検診窓口となることで、検診人口が増え予防意識が高まる。	町長
9	熊本 廣	30分	1. 第5次志免町総合計画について	(1)自然環境の保全  (2)地域活性化 人と地域がにぎわう町、産業の支援	① 緑地保全について i 都市公園法規定とは。 ii 公園用地取得後の対策 iii 地域にある緑地公園用地 (町有地か借地なのか、面積は。今後緑地公園はどのような対応なされるのか。) iv ポイ捨て禁止運動を継続しては。  ① 農業対策 i 吉原地域活性化。 ii 農家数の減少についての対策は。 iii 宇美志免線の再度検討は。 iv ファミリー農園、将来はどのように対処されるのか。	町長

				(3)町づくり志免町将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街化区域農地と市街化調整区域農地の面積、借上料、固定資産税の差は。</li> </ul> <p>② 商業対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 現事業所の減少を食止める為の施策は。</li> <li>ii 商品券等の補助対策は。</li> </ul> <p>①土地利用の基本方針は。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 地域に潤いと活力</li> <li>人と人が助け合う今後の施策は。</li> </ul>		
10	二宮美津代	30分	1. 人権問題。	(1)高齢者の虐待。	① 2009年度中に高齢者（65歳以上）が虐待を受けた事例が15,619件に上り、そのうち息子や夫からの虐待が6割を占めていることが厚生労働省の調査でわかり、年々増加しているとの報道もあります。そこで志免町の状況について伺います。	町	長
			2. 人権を守る条例の策定	(1)条例制定に向けて	① 人として自分らしく生きる権利を守る条例の制定は、町民だれもが安心して暮らすことのできるまちづくりの重要な施策です。	町	長
			3. 税滞納対策	(1)税金の大切さを知ってもらう取り組み	① 嫌われる税の徴収を若手職員も経験すべき。管理職の訪問徴収に同行し、徴収のむずかしさやコスト意識、町民の生活実態を知ることが大事。	町	長